



種は人類の命そのもの。しかし種子の94%が20世紀に消滅。
 種子の多様性を守るために私たちのすべき選択とは？

2019年11月28日(木)

16:00~18:50

法政大学多摩キャンパス
 エッグドーム5階ホール

viral promoters
 patent no. 5767
 chemical coating



シード 生命の糧

SEED

16:00~17:40 「SEED~生命の糧」上映 (15:45 開場)

17:50~18:50 トーク 北原 瞬(有機農園けのひ) × 島本 美保子(社会学部教授)

法政大学社会学部を卒業後、神奈川県愛川町の「有機農園けのひ」で有機農業を営み
 年間約80種類の野菜を農薬・化学肥料を使わずに育てている北原瞬さんに
 有機農業について、種と私たちの関わり方についてお話いただきます。

問い合わせ先 法政大学大原社会問題研究所 〒194-0298 東京都町田市相原町4342
 TEL:(042)783-2305 E-mail:oharains@adm.hosei.ac.jp

第11回 大原社研 シネマ・フォーラム

人類史上で最も急速に 種子の多様性が失われている



11月28日(木)
16:00~18:50

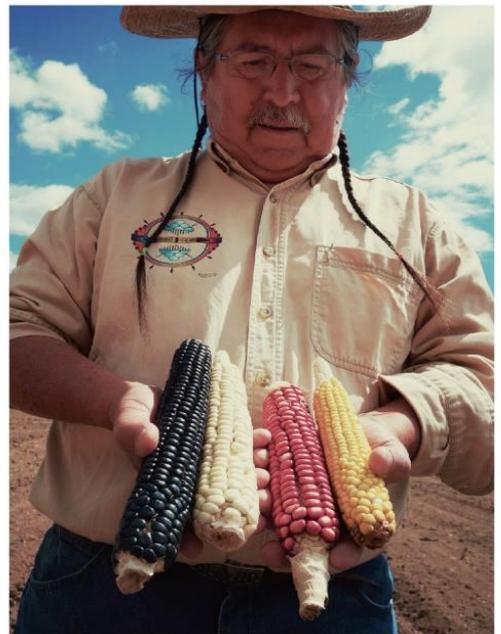
法政大学
多摩キャンパス
エッグドーム
5階ホール

20世紀中に種子の94%が消滅 種子の多様性が失われている

私たちの命そのものというべき種は、1万2千年以上もの間、世界中の人々によって大切に受け継がれてきた。しかし、驚くべきことに20世紀中に野菜の種子の実に94%がすでに消滅。気候変動や、世界の種子市場を多国籍企業が独占するようになったことが大きな要因だ。市場には遺伝子組換え作物(GMO)が登場し、多くの国々で農家が種子を保存し翌年蒔くことが禁止されるようになった。結果、古くからの農業の伝統が途絶え、人類史上最も早いペースで種子の多様性が失われているのだ。

種は未来に実りをもたらすタイムカプセル

在来種が失われ続けている今、人類の未来の糧を守るため、世界中の種の守り人、シードキーパーたちが挑戦を続けている。「種子は私たちの子孫」とトウモロコシの種を守り続けるアメリカの先住民たち。人類の終末に備え、最大300万種の種を貯蔵できる永久凍土にあるシードバンク、スヴァールバル世界種子貯蔵庫に種子を保存する人々。世界中を駆け巡りながら、種を南米やアフリカなど世界中で収集する植物探検者たち。ヴァンダナ・シヴァ、ジェーン・グドールやウィノナ・ラデュークなど著名な活動家と種子の多様性を守る方法を探る。



"種子は 古い植物の命とそれが生み出す新しい命とをつないでいるんです"

ジェーン・グドール (霊長類学者)



シード ~生命の糧~

監督: タート・シーゲル、ジョン・ベッツ プロデュース: タート・シーゲル、ジョン・ベッツ 制作総指揮: マリサトメイ、マーク・タートルトープ、フィル・フェアクロフ
音楽: ガース・スティーブソン、ベンジー・ワースハイマー、ガイア 編集: タート・シーゲル、ジョン・ベッツ
出演: ヴァンダナ・シヴァ、ジェーン・グドール、ウィノナ・ラデューク、ラーシ・パテル他 制作: Collective Eye Films 配給: ユナイテッドピープル原題: SEED: The Untold Story 2016年/アメリカ/94分

www.unitedpeople.jp/seed

cinema
映画でつながる。未来がはじまる。
By UNITED PEOPLE

映画の市民上映会主催者募集!
詳しくは cinema.info へ
お問合せ film@unitedpeople.jp

16:00~17:40 「SEED~生命の糧」 上映 (15:45 開場)

17:50~18:50 トーク 北原 瞬 (有機農園けのひ) × 島本 美保子 (社会学部教授)

法政大学社会学部を卒業後、神奈川県愛川町の「有機農園けのひ」で有機農業を営み年間約80種類の野菜を農薬・化学肥料を使わずに育てている北原瞬さんに有機農業について、種と私たちの関わり方についてお話いただきます。